

北海道で体験学習

町教育委員会主催の児童・生徒県外研修が、8月1日から2泊3日の日程で行われました。この研修は、青少年育成事業の一環として平成4年度から実施されているもので今年で10回目。参加した25名は、北海道の大自然にふれながら貴重な体験をし、楽しい思い出をたくさんつくりました。

県外研修について

上塚小学校5年

一ノ瀬敏建



ぼくにとつて、初めての遠い旅でした。

まず、町内の各小学校の皆さんや中学校の先ばいと交流ができて、今、ぼくは素晴らしい体験ができたと思っっています。今までのぼくは、集団生活に慣れるのに大分時間がかかり、特定の友だちだけの小さな世界で満足していましたが、今度の北海道の県外研修に参加したことで、今まで知

らなかった人とも友だちになり、自分の世界が広がったように思います。

また、今回の研修は、ぼくにとつてすべてが初めてといっても過言ではありませんでした。釧路空港に着いた時に、思っていたより寒くなかったが、空港から一歩出たとたん涼しさを通りこしてかなり寒く感じ、夏でも寒いことを体験しました。それから、北海道は自然が多くすべてが広く大きく感じられました。食べる物もとても新鮮で、おいしい料理をごちそうになりました。ジンギスカンで食べた羊のラム肉はやわらかく、タレを付けずに食べて

もすごくおいしかったです。そのあと、本物の川でカヌーを体験しました。初めは少しこわかったですが、役員の方のアドバイスにしたがつてもう一度乗ったところ、どうにか乗れるようになりました。

初めてのことがばかりでしたが、これも、北海道への県外研修に参加したからこ



熊のように元気です。

そ体験できたことです。

「何事にも参加することに意義がある」という言葉をわかったような気がします。

今回の県外研修では、楽しく充実した3日間を過ごすことができ、とても短く感じられました。引率してくださった先生方、役員の方々、本当にありがとうございました。